

学校と地域をむすぶ

大津市立葛川小・中学校

# かけはし

地域コーディネーターだより

2016. 9. 23

NO. 3

## 秋季大運動会

さわやかな秋空のもと、9月10日に葛川学区秋季大運動会が行われました。今年例年よりも少し早い開催となり、小中学校では8月の終わり3日間も練習や準備の時間にあてました。限られた日数の中で、天気を見ながらの練習となりましたが、日ごとに力も熱も入っていきました。そして、迎えた運動会当日。

### 力と心を合わせて



一人技にはじまり最後は大技でフィニッシュ。「気をつけ」の姿勢で立つのも技の一つ。背筋や指先を伸ばし待つ。この技が一番難しいかもしれません。6年生はさすがに6回目の組体操。去年と同じ技でも、さらに手足を伸ばし、より美しく見えるよう自分なりに考えました。初めての組体操にチャレンジ

した1年生は、お兄さんお姉さんを見ながら技を覚えます。ポーズを決めて静止することがとても難しく、初めはぐらぐらしていたのが、本番では、時間以上にポーズを決めてふんばりま



した。後半は、中学生もいっしょです。登校後、1時間目が始まる前から合同練習を行いました。その回数が多いものではありませんでした。土台となってしっかりと支えてくれる中学生を信じて小学生は上に乗ります。「真剣」「信頼」「辛抱」を合言葉に練習を積み重ねました。顔も心も集中し「真剣」に、足がブルブル震えても支えてくれる人を「信頼」し、痛くても「辛抱」してきた練習の日々。小中学生で作上げた多くの技。一人ではできないことも、一人ひとりが力を出し合い、心を一つにして作り上げることができました。本番、これが最後と、持てる力をすべて出し切りました。退場していく子どもたちの顔には、やりきったというすがすがしい笑顔があふれていました。



### 楽しい かっこいい



両手に持った赤、青、黄、緑のペットボトルはシャカシャカと音なる手作りマラカスです。マラカスを持ってスキップ、ギャロップと軽快なリズムにのりのりの小学生。練習では、音楽が流れ始めると自然と手足が動き始め、いつのまにかダンスの輪ができていました。本番では、練習の時

にはなかったまわりからの大きな手拍子によって、思いっきり楽しんで踊りました。

一方、中学生のダンスは小学生のあこがれの的。正面に陣取ってダンスを見ました。難しいステップや手の動きがぴったりそろっています。「やっばりすごい」「かっこいい〜」自分たちから進んで練習に取り組んだ中学生。刻まれるビートに乗ったキレのあるダンスに大喝采でした。



## じゃんけん ポン！

いつもお世話になっている寿会のみなさん。今年も子どもたちとじゃんけんゲームを楽しんでいただきました。「じゃんけんポン！」子どもたちは勝つまで帰れません。「じゃんけん！」かけ声にも力が入ります。「勝った～！」「え～、つよい～」笑い声がこだまします。楽しいふれあいのひととき。



## お題は なあに？

今年も障害物競争には、借り物（人）の種目が入っています。「太鼓廻しで太鼓をまわしたことのある人」「三の滝に行ったことがある人」「わら草履を作れる人」。葛川ならではの話題もいっぱい。大きな声で人をさがす子どもたちに、「は～い！」と手をあげ、テントの中から走り出してきたのは、おじいちゃんおばあちゃん、卒業生、近所のおじちゃんおばちゃんなど地域の方々。競技をする子どもたちだけでなく、見ている人たちもいっしょに楽しむことができました。

## ねらうは どのパン

「運動会で楽しみなことは？」「パン食い～！」と声がかえってきます。子どもも大人もこのパン食い競争の出番を心待ちにしていました。「今年は何んなパンがあるのかなあ？」「あのパンねらうでえ～」。「よ～い、BAN！」 速い！シグナルの音と同時に飛び出していきます。50m走より速いかもしれません。ねらったパンに飛びつきます。パンをくわえてゴール！最高の笑顔。



## ひっぱれ ジャンプ ころがって

南部、北部、久多の3つのチームに分かれてたたかう地域の方々の種目。綱を持ち、腰を落としてふんばる綱引き。大人たちの奮闘ぶりに子どもたちからも大きな声援が飛び交います。普通の玉入れの籠よりも高くバケツは小さい。これに玉を入れるのはかなり難しい。しかし、久多のみなさんうまい！たくさん入りました。葛川恒例の樽転がし。二本の棒の使い方にコツがあるようで、長年樽を回し続けてこられたベテラン選手の方々の樽さばきに脱帽。力いっぱい樽をたたいて勢いで走りぬくのも一つの手？転がる樽と人に大きな笑い声と拍手。



## 雪がなくても 雪合戦

今年の年明けに体協の方々にスノーバトルを教えていただきました。雪の少なかった今年の冬はなかなかスノーバトルをすることができませんでしたが、雪がなくてもバトルはできる。雪なしバージョン「サマーバトル」の競技が今年初めで誕生しました。ヘルメットをかぶり、大きなシェルターに隠れながら、相手チームめがけて玉を投げます。玉をよけているだけでは勝負はつきません。相手チームの旗を取りに前進します。子どもたちの対戦の後は、大人たちも挑戦。相手チームをめがけてバンバン玉を当てる姿は迫力満点！今年の冬は本物のスノーバトルに熱が入りそうです。



# 30年ぶりの復活

かつては、運動会の一番最後に、子どもたちからお年寄りの方々まで全員で江州音頭を踊っていました。今年、その江州音頭が30年ぶりに復活。お昼の時間に運動場の真ん中に置かれたやぐらもどきを囲み、踊りの輪ができました。長年踊ってこられた寿会の方々は、さすが、手さばきが違います。しなやかな手首の動きにこの踊りの深さを感じます。しかし、見よう見まねではじめて踊る人や自然と手が動いていくベテランの人など、一つの踊りを通して心通い合うふれあえるひとときとなりました。

## 一致団結 声をかぎり



一学期から応援内容を考えてきた紅白両チーム。それぞれの色にちなんだ内容を盛りこみました。はじめは、なかなか覚えられなかったり、恥ずかしくて大きな声を出せなかったりしました。「これでいいの？」間際になって、一人ひとりの思いを出し合い、それをきっかけに思いが一つになりました。前日、バスの時間ぎりぎりまで最後の練習

をした赤白両チーム。それまでは練習場所を変えて相手チームに見られないようにしていましたが、いつのまにか両チームが向かい合わせになり、相手チームを上回る声を出し合う光景がありました。今までの練習でのつらかったことや、めげてしまったことをすべて吹き飛ばすかのように、思いっきり笑顔の応援合戦。最高のチームワークを確かめ合いました。本番は、声もアイデアも笑顔も出し切りました。



# 新記録めざして

小学校1年生から中学3年生までが、紅白に分かれて大縄を8の字に跳び、その回数を競う「8の字とび」。縄がこわくて入れなかったり、跳ぶタイミングがつかめずひっかかったり。何とかみんなが跳べるようにと、背中を押してあげたり、声をかけてあげたり、各色練習に力が入ります。コツがつかめてくると、縄をこわがっていた小さい子どもたちも縄に向かって走ります。「ハイ、ハイ、ハイ！」だんだんかけ声も大きくなっていきました。縄のスピードも速くなっているのに、リズムカルに次々と跳んでいきます。1年生も、縄にひっかからずにスルスルとくぐり抜けていきます。昼休みや放課後など、少しの時間を見つけて練習してきました。全力を出し切った本番。勝敗以上に、新記録を出すことができたことに歓声が上がりました。チームが一つになった6分間でした。



## バトンでつないだ最後の決戦

一学期から小中合同体育でリレーの練習をしてきました。短距離走と違い、勝負の分け目はバトンパス。「GO!」「ハイ!」と大きな声でバトンをつなぎます。走ることにこのバトンパスの練習を時間を見つけて練習をしてきました。スピードを落とすことなく次の走者に思いが託されていきます。最後の紅白対抗種目とあって、これで勝負が決まります。直前、「タイムを計ってください」という子どもたちからの声。勝つこと以上に、自分たちの練習の成果を本番で確かめたいという強い思いでした。勝負は決まりましたが、今まで以上の高タイムを出すことができたことに喜びがあふれました。

# KSK

## キセキ 勝利 感動

今年の運動会のテーマは「KSK ～キセキ 勝利 感動～」。子どもたちは紅白の2チームに分かれて、この運動会での勝利をめざして練習をしたり作戦を考えたりしてきました。運動会には勝負がつきものです。人数が少ないからこそ、一人ひとりの力が大きな力を生み出します。「勝利」をめざして取り組んできた練習の日々。本番では、全力を出し切り、みんなが一つになることができたという満足感、達成感を味わうことができました。練習の時と比べて記録をのばすことができた、新記録を出すことができたことは、「勝つ」こと以上に大きな喜びとなりました。今年の運動会では、両チームともに、円陣を組み大きなかけ声をかける姿が多く見られました。すばらしいチームワークが、競技する者、応援する者に「感動」を与えてくれました。

小さい子どもたちからお年寄りの方々まで、みんなが競技に応援に参加し、大きな一つの輪を作り上げることができた運動会。真剣な顔つき、ほほえましい姿、満面の笑顔、そして涙。最後に残ったのは「感動」でした。

朝早くからお越しいただきいっしょに楽しんでいただいた来賓の皆様、地域の皆様、そして準備や進行をしてくださった体協の皆様、ありがとうございました。

**10月1日(土)には、小中学校の文化祭「紅葉祭」が行われます。子どもたちの発表や作品を見たり、いっしょにふれあい楽しんでいただけたらと思います。是非 お越しください。お待ちしております。**